

1. 広東省

1. 各種会議の開催

- 5日午前、省党常務委員会メンバーが広州市越秀区にある第3回党大会開催跡地（春園）を訪れ、歴史的展示物を見学し、入党の誓いの言葉を復習した。続けて、そこで李希・省党書記が省党常務委員会議を主宰し、初心を忘れず、使命をしっかりと銘記し、永遠に奮闘しなければならないと強調（11月6日付『南方日報』）。
- 6日、馬興瑞・省長主宰の省政府党組織拡大会議が開催され、習近平・総書記が第1回党大会開催跡地と嘉興南湖紅船を見学した際に述べた重要講話の精神を集団学習し、省党委員会の関連要求を伝達・貫徹し、「省政府党組織が第19回党大会の精神を宣伝・貫徹するための実施プラン」について審議した（11月7日付『南方日報』）。
- 7日午前、省人代党組織メンバーが広州市越秀区にある第3回党大会開催跡地を訪れ、歴史的展示物を見学し、入党の誓いの言葉を復習した。続けて、そこで李玉妹・省人代主任が省人代党組織会議を主宰し、人大の業務、正しい政治の方向をしっかりと把握しなければならないと強調（11月8日付『南方日報』）。
- 8日午後、珠海市党常務委員会メンバーが楊匏安陳列館を訪れ、革命の業績を拝聴し、入党の誓いの言葉を復習した。続けて、そこで郭元強・珠海市党書記主宰の市党常務委員会が開催された（11月9日付『南方日報』）。
- 8日、江門市党常務委員会メンバーが1958年に周恩来・総理が視察した「新会労働大学」跡地を訪れ、周総理視察時の写真展を見学するとともに、林応武・江門市党書記が先頭に立ち、入党の誓いの言葉を復習した（11月9日付『南方日報』）。
- 9日午後、馬興瑞・省長主宰の省政府常務会議が開催され、広東省「デジタル政府」改革の建設、海洋を主体とする機能エリア計画の編成等の業務について検討・手配（11月10日付『南方日報』）。
- 10日、李希・省党書記主宰の省党常務委員会議が開催され、「党中央による集中的・統一的指導の強化・維持に関する中央政治局の若干の規定」等について伝達・学習し、広東省がそれを貫徹・実行するための業務について検討・手配。また、省裁判所及び省検察院党組織の報告を聴取（11月11日付『南方日報』）。
- 10日午前、莫高義・韶関市党書記率いる同市党常務委員会メンバーが、中国共産党粵北省党委員会跡地を訪れ、入党の誓いの言葉を復習した。続けて、そこで莫書記主宰の市党常務委員会議が開催された（11月11日付『南方日報』）。
- 10日午後、陳奕威・惠州市党書記率いる同市党常務委員会メンバーが革命跡地を訪れ、革命の歴史的展示物を見学し、入党の誓いの言葉を復習した。続けて、そこで陳書記主宰の市党常務委員会議が開催された（11月11日付『南方日報』）。
- 8日午前、潮州市党常務委員会メンバーが南昌起義軍指揮部跡地を訪れ、「潮州七日紅」革命の歴史展を見学し、劉小濤・潮州市党書記が先頭に立ち、入党の誓いの言葉を復習した。続けて、そこで劉書記主宰の市党常務委員会議が開催された（11月11日付『南方日報』）。
- 9日、陳良賢・汕頭市党書記率いる同市党常務委員会メンバーが大南山革命跡地を訪れ、入党の誓いの言葉を復習し、歴史記念館を見学した。続けて、そこで陳書記主宰の市党常務委員会議が開催された（11月12日付『南方日報』）。
- 11日午前、丁紅都・河源市党書記率いる同市党常務委員会メンバー、市人代及び市政協党組織書記が紫金革命闘争史展示館を訪れ、革命跡地の血田記念広場を見学し、入党の誓いの言葉を復習した。続けて、そこで丁書記主宰の市党常務委員会議が開催された（11月12日付『南方日報』）。
- 10日午前、頼沢華・肇慶市党書記率いる同市党常務委員会メンバー、市人代及び市政協党組織書記が葉挺独立団跡地を訪れ、入党の誓いの言葉を復習した。歴史的展示物を見学し、肇慶の赤い歴史を振り返り、革命の先達の崇高な精神を学習し、理想・信念・教育を強化した（11月12日付『南方日報』）。
- 10日午前、揭陽市党常務委員会メンバーが「八一」南昌起義軍指揮部軍事政策決定会議が行われた「流沙会議」跡地を訪れ、入党の誓いの言葉を復習した。続けて、そこで李水華・揭陽市党書記主宰の市党常務委員会議が開催された（11月12日付『南方日報』）。

2. 王榮・省政協主席が黄偉雄・広東公共外交協会海外理事一行と会談

- 6日午後、上記会談終了後、広東公共外交協会と黄偉雄氏が理事長を務めるNZ・中国「一带一路」産学連盟は発展・友好・協力関係覚書に署名した（11月7日付『南方日報』）。

3. 省幹部による海外要人との会談等

●6日、許瑞生・副省長がアロヨ・APCU主席（元大統領）一行と会談。許副省長は、将来、双方は農業・漁業分野における意思疎通・ビジネスマッチングを強化し、経済・貿易、文化、教育等の分野における交流・協力を深めていくことができると述べた（11月7日付『南方日報』）。

●7日、徐少華・省人代副主任がウィル・クインズ英国議会超党派中国グループ副代表率いる英国議員代表団一行と会談し、次のように述べた。今後、双方は人々の往来・交流を更に強化し、互いの経験を参照し合い、立法・監督等の分野における意見交換を促進していきたいと述べた（11月8日付『南方日報』）。

●10日午後、林少春・常務副省長がサイモン・バートリー技能五輪国際組織委員会（World Skills International）会長と会談。林常務副省長はバートリー会長の来訪に歓迎の意を表するとともに、広東省の技能人材育成状況、第44回世界技能五輪国際大会（於アラブ首長国連邦アブダビ市）における優秀な成績を紹介した（11月11日付『南方日報』）。

4. 2017中国・ドイツ企業投資・M&Aフォーラムの開催

●6日、商務部投資促進事務局の指導により、中国国際投資促進センター（ドイツ）と仏山中国・ドイツ工業サービス区管理委員会が上記フォーラムを開催し、ドイツの著名企業家、M&Aの専門家、世界トップ500企業のリーダー約20人が出席し、30以上の欧州の協力プロジェクトと中国企業のビジネスマッチングが行われた。同フォーラムでは、「隠れたチャンピオン企業（世界市場で活躍する無名の中小企業）の海外投資とM&A」というテーマで、ヘルマン・サイモン教授が講演を行なった（11月7日付『南方日報』）。

※ヘルマン・サイモン教授：ドイツの著名な管理学者、『価値戦略論』の著者。著者によれば、世界の「隠れたチャンピオン企業」2746社のうちドイツ企業は1307社で、全体の47%を占めており、こうした無名の中小企業がドイツの輸出の約4分の1を占めているという。

5. 李希・省党書記による視察

●6日～7日、李希・省党書記が深圳市福田区（金融）、南山区（ハイテク産業）、龍崗区（新興産業推進地区）、広東自貿区前海・蛇口エリア（金融・港湾貿易）を訪れ、同市の改革開放の歴史的過程と経済・社会の発展状況に対する理解を深め、第19回党大会の精神の学習・貫徹に関する指導・視察を行なった（11月8日付『南方日報』）。

●10日、李希・省党書記が省党委員会弁公庁、同政策研究室を訪れ、第19回党大会の精神を学習・貫徹するための業務を更に強化することに関する視察を行なった（11月11日付『南方日報』）。

●11日、李希・省党書記が揭陽市の末端の社区、党組織・困窮した古くからの党员の家庭を訪問し、第19回党大会の精神を学習・宣伝・貫徹し、小康社会の全面的な建設の最終段階に関する視察を行なった（11月12日付『南方日報』）。

6. 華僑関連

●7日、省華僑弁公室が主宰し、海外華僑が「一帯一路」建設を後押しする協力・交流会を開催。郭軍・國務院華僑事務弁公室副主任、陳雲賢・省政府党組織メンバー（元副省長）が出席するとともに挨拶を行なった（11月8日付『南方日報』）。

●11日午前、揭陽市で第7回粵東華僑博覧会が開幕し、李希・省党書記が開幕式に出席するとともに、国内外の来賓と会談。馬興瑞・省長、郭軍・國務院華僑事務弁公室副主任が開幕式で挨拶を行なった（11月12日付『南方日報』）。

7. 李希・省党書記、馬興瑞・省長が南部戦区等を訪問

●9日、李希・省党書記、馬興瑞・省長が南部戦区、広州軍区善後策弁公室、武警広東省総隊を訪問し、第19回党大会の精神を深く学習・貫徹し、双擁業務についてともに議論し、新たな情勢下における軍民融合を深く発展させるよう推進した。袁誉柏・南部戦区司令官、魏亮・南部戦区政治委員、楊玉文・広州軍区善後策弁公室主任、周衛民・同弁公室政治委員、趙継東・武警広東省総隊司令官、王亜東・同総隊政治委員が出席（11月10日付『南方日報』）。

※双擁：政府が軍人の家族を優遇し、軍が人民を愛護すること。

8. 広東・外資新エネルギー、自動車リーディングカンパニーCEO円卓会議の開催

●9日、袁宝成・副省長主宰の上記会議が開催され、関連企業の要求・提案を聴取し、新エネルギーや自動車の外資企業が同省で発展していくことを推進した。同会議の前に、馬興瑞・省長が米国の関連企業代表と会談（11月10日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 任学鋒・市党書記が天河区の社区を視察

●先頃、省党委員会・市党委員会の統一的な段取りに基づき、任学鋒・市党書記が天河区の社区で第19回党大会の精神を宣伝し、同社区のいくつかのグループ、21の街道の党政責任者と交流・学習するとともに、社区の改造に関する業務を視察した（11月6日付『南方日報』）。

2. 市党常務委員会議の開催

●6日午前、市党常務委員会メンバーが越秀区の第3回党大会開催跡地（春園）を訪れ、歴史的展示物を見学し、入党の誓いの言葉を復習した。続けて、そこで任書記が市党常務委員会議を主宰し、初心を忘れず、本来の面目を維持し、永遠に奮闘しなければならないと強調（11月7日付『広州日報』）。

3. 南方財經オールメディア集団本部が広州国際金融センターに設立

●8日午前、広州国際金融センターで南方財經オールメディア集団本部のプレート除幕式が行われ、任学鋒・市党書記、慎海雄・省宣伝部長が出席。これは省党委員会・省政府が非常に重視し、力を入れて進めている全省文化体制改革の深化とメディア融合発展のベンチマークとなるプロジェクトである（11月9日付『広州日報』）。

4. 温国輝・市長がNZオークランド市長と会談

●8日午後、温国輝・市長はオークランド市長が訪問団を率いて広州を訪れ、広州・オークランド・ロサンゼルス3都市経済連盟2017広州年度総会に出席したことに歓迎の意を表し、次のように述べた。両市は文化、科学技術、教育、観光等の分野における実務協力を強化し、経済連盟が更なる発展を実現できるよう共に推進していきたい。在中国NZ大使、在広州NZ総領事等も同席（11月9日付『広州日報』）。

●9日午前、広州・オークランド・ロサンゼルス3都市経済連盟2017広州年度総会が開催され、温国輝・市長、オークランド市長、ロサンゼルス副市長が挨拶を行なった。同連盟は2014年11月、経済・貿易・投資等の分野における実務協力を更に推進し、友好都市関係を深めることを目的に設立された（11月10日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. 市政府常務委員会議の開催

●8日午前、王偉中・市党書記主宰の上記会議で、李希・省党書記が深圳市を視察した際に述べた指示の精神を伝達・学習し、「市党幹部が第19回党大会の精神の大学習・大訓練を展開するための実施プラン」について討議し採択（11月9日付『深圳特区報』）。

2. 王偉中・市党書記が柳伝志レジェンド・ホールディングス董事長一行と会談

●8日午後、上記会談で双方は第19回党大会の精神を真剣に学習し、習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想を導きとし、ビジネス環境の全面的な最適化、ベンチャーキャピタル・エコシステムの充実、科学技術と金融の融合の強化、システミックリスクの防止等の分野における戦略的協力を強化し、社会のイノベーション・創業を更に活性化させていくことで合意（11月9日付『深圳特区報』）。

3. 第2回深圳海洋発展シンポジウムの開催

●8日午前、上記シンポジウムが開催され、王偉中・市党書記が出席するとともに講話を行なった。テーマは、海洋強国という戦略の下、深圳市に特有の海洋資源、科学技術イノベーションといった新たな強みを拠り所とし、海洋発展に関するシンクタンクの構築に力を注ぎ、同市がグローバルな海洋中心都市を急いで建設していくための計画を考え出すことである。科学技術部、国家海洋局等の関連部門の幹部、中国科学院、中国工程院、清華大学等の研究員や学者、関連企業の責任者等が来賓として出席（11月9日付『深圳特区報』）。

4. 王偉中・市党書記、陳如桂・市長が孟鳳朝・中国鉄道建設株式有限公司董事長一行と会談

●9日午前、上記会談で双方は第19回党大会の精神を真剣に学習し、習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想を導きとし、協力を更に強化し、高品質・高基準のインフラ建設を急いで推進し、安全な生産を厳格にし、手を携えて「深圳スタンダード」を構築していくことで合意（11月10日付『深圳特区報』）。